



## クラスの心をつに

年長さんのミニ・コンサートを28日(火)に開きましたが、平日にも拘らず、多くの保護者の方に参観いただき有難うございました。そして、多くの方は、新たな感動を覚えたことと思います。年長さんは、12月の劇発表会そして1月の竹馬披露会と大きな活動が続きましたが、これまでの活動の積み重ねで、お互いの持つよさを認め合い、不十分さを補い合うことを学び、学級として一つにまとまった素晴らしいクラスの音楽を作り上げることができたと思います。

12月から3月までの4か月間、担任は、ゆっくり休む暇もなく、所謂、「猫の手も借りたい」程の繁忙期となります。しかし、子どもたちが、劇作りや竹馬乗り、そして今回のミニ・コンサートなどで、やり遂げた後の充実感や達成感を味わうからこそ、担任も子どもと一緒に喜びを共有し、それまでの疲れを吹き飛ばすことができるのです。教師の一番の幸せは、子どもの成長や変容を見ることです。ですから、担任にとっては、日々変容していく年長さんの姿を見て、至福の時を味わったことと思います。

担任は、2月初旬に曲を決め、主旋律に合わせて、旋律楽器や打楽器を組み合わせ、合奏曲にまとめ上げます。一応の合奏曲ができたなら、事前に、職員全員で試しの合奏を行い、旋律楽器の出番や打楽器のリズムが合っているか調整を行います。従って、学級全体の練習が始まるのは2月の中旬ですから、練習期間は、僅か2週間です。最初は、鍵盤ハーモニカを弾けない子どもがたくさんいました。合奏に至っては、なかなかリズムや速さが合わず、バラバラでした。

ところがどうでしょう。本番では、みんなの心が一つになり素晴らしい演奏でした。日頃の練習以上に力が入り、張り切る年長さんもちらほら見かけました。一人ひとりの子どもを見ると、やり遂げた後の満足感で、生き生きと輝いていました。僅か2週間で見事に仕上げた年長さんの集中力や力量には感心しました。

保護者の方に目をやると、カメラやビデオを構え、お子様の撮影に夢中になった姿も印象的でした。



## 暖かい春は足元に

各地で梅の便りが聞かれる頃となりました。山荘通りの梅も赤や白の花を咲かせ、今が一番の見どころです。幼稚園の門衛室横の梅の木も、赤い花を咲かせ、みんなに、春の訪れを知らせています。

また、らいおん組のお父様方が、卒園式に向けて植えたロータリーの花壇も、寒い冬をじっと耐え、赤や黄色の色とりどりの花が、開き始めました。昨年植えたチューリップの球根を今年のために保存し、どのくらい育つか、テニスコート横に植えたところ、何と、115個の球根が芽を出しています。どんな色のチューリップが咲くか楽しみです。

春の訪れは、まとめの時期であり、お別れの時期でもあります。嬉しいような寂しいような・・・。

## こんなに遅くありませんヨ～年少崖遊び～

暖かい春の日差しを感じる頃になってきましたので、響流の森での活動も再開しました。その一つが、崖遊びです。今、年少さんの崖遊び(本園での通称)が流行っています。というより、担任が、健やかな子どもの成長を目指し、坂での滑り降りや崖登りを経験させています。

最初は、先生の手を借り、綱を持って、恐る恐る滑ったり、登ったりしていましたが、慣れてくると、ひとりで滑り降り、そして綱を持って登ってきます。自分一人でできた喜びを感じ、「やったー、やったー」と何度も歓声を上げる子どもがいました。数人でグループを組んで、仲良く滑り降りる子どもたちもいます。中には、綱も持たず、坂を上ってくることでできたことで自慢する子も出てきました。

入園当初あんなに可愛かった子どもたちに、逞しい一面が備わってきました。間もなく年中さんに進級します。さらに逞しく成長して欲しいものです。

因みに、安全確保のために、担任及び補助の教員の他に、バス運転手を補助として付けています。

